



100TH ANNIVERSARY SINCE 1921

テルモ電子体温計 S100

取扱説明書

医療機器認証番号:303AABZX00012
2021年7月作成

ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、「取扱説明書」は必ず保管してください。

ご相談・お問い合わせ先

この商品に関するご相談やお問い合わせは、販売名をご確認の上、「テルモ・コールセンター」又はお買い上げの販売店にご連絡ください。

テルモホームページアドレス
www.terumo.co.jp



この体温計の販売名はテルモ電子体温計S100です。

目次

安全にお使いいただくために・	4
ご使用前に・	6
体温の測りかた・	8
お手入れ・	12
電池交換・	13
アプリの使用方法・	16
ご使用の皆様へ・	19
故障かな？と思ったら・	21
仕様・	22
シンボル・	24
体温の話・	25
さらに詳しい情報は・	26
品質保証書・	27

注意文の表示内容

本取扱説明書では、表示内容に従わず、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

お使いになる方や、他の人々への危害や財産への障害損害を未然に防止するため、表示内容に従ってご使用ください。

警告

特に注意していただきたいことを示します。

- ・ 適正に使用しても、注意を怠ると死亡又は重傷を負う可能性が想定されます。

禁忌・禁止

絶対に行ってはいけないことを示します。

- ・ 本品の性能を超える、又は不適正な使いかたにより、死亡又は重傷を負う危険性があります。

注意

使用にあたり、一般的な注意を示します。

- ・ 誤って使うと、傷害を負う可能性、又は物的損害*のみの発生が予想されます。
※物的損害とは、家屋、家財、及び家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

安全にお使いいただくために

警告

- ・ 心臓ペースメーカー等植込み型医用電子機器を使用している人は使用しないでください。[内蔵されている磁石の影響で誤作動を招く恐れがあります。]
- ・ 子供だけで使わせないでください。[体温計の先端部をかみ切って飲み込んだり、けがをする可能性があります。]

禁忌・禁止

引火性のある環境では使用しないでください。[引火又は爆発の誘因となる可能性があります。]

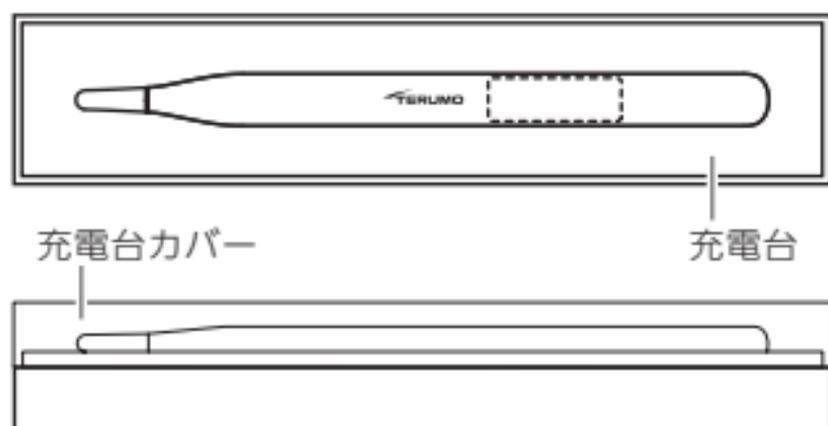
ご使用前に

次のものがそろっていますか？

万一、不足しているものがあるときは、すぐにテルモ・コールセンター又はお買い上げの販売店までご連絡ください。

- 本体 ●充電台
 - 取扱説明書 / 品質保証書
 - 添付文書 / EMC 技術資料
- ※単4形アルカリ乾電池2本(充電台内部)
お試用のため、電池寿命が短い場合があります。

各部の名称



●本体

(正面)



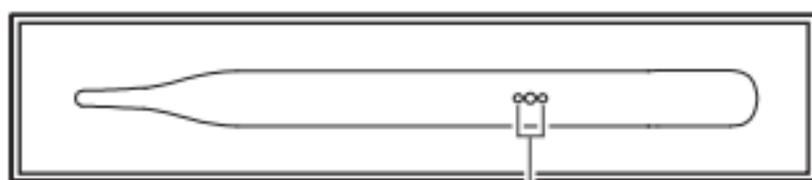
(背面)



ご使用の前に

●充電台

(表面)



充電端子 (充電台)

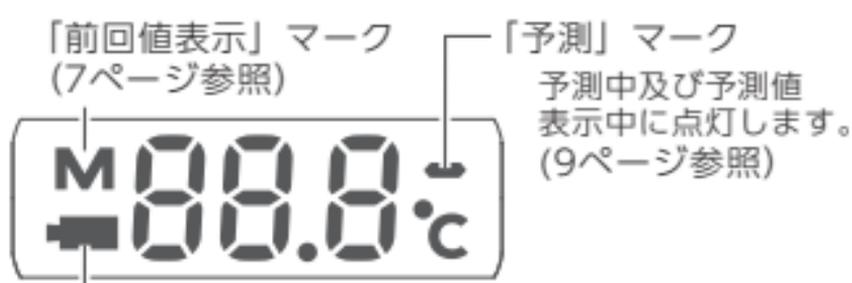
(底面)



電池フタ

購入時は電池フタに絶縁タブがはさまっています。引き抜いて体温計を充電してからお使いください。

●表示部



「前回値表示」マーク
(7ページ参照)

「予測」マーク

予測中及び予測値
表示中に点灯します。
(9ページ参照)

「電池」マーク

電池電圧が低下すると「電池」マークが点滅します。
さらに電池電圧が低下すると他の表示が消灯し、
「電池」マークだけが点灯します。
充電中は、「電池」マークだけが点滅します。
(11ページ参照)

※説明のため、全点灯で表示しています。

動作原理

本品は、サーミスタの抵抗変化を利用して温度を検出します。検温中は、平均約 20 秒(おおよそ 16 ~ 25 秒)で予測が成立したことを振動で知らせます。検温をそのまま続けると約 10 分後に実測検温終了を振動で知らせます。体温計をワキから取り出したとき、検温開始から約 4 分 30 秒までは予測値、それ以降は実測値の最高値をデジタルで表示します。

体温の測りかた

① 体温計を充電台から取り出す

体温計が振動し、自動で電源が入ります。



注意

- ・ 充電台から取り出す際は、体温計の先端（測温部）に触れないでください。

電源が入ると、下記のように表示されます。

M 88.8℃



「前回値表示」マーク

M 37.0℃

前回値表示※



- - -

検温準備OK

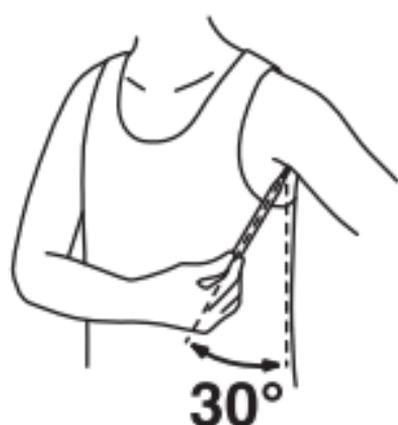
※初めて使用するときや充電が切れた後など、前回値がない場合は「- - -」と表示されます。

注意

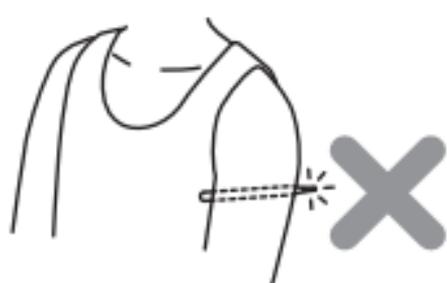
- ・ 表示が「- - -」（検温準備 OK）であることを確認してから測定を行ってください。

体温の測りかた

- ② 体温計の先端（測温部）をワキの下中央に斜め下から 30 度くらいの角度で深く入れる



横向きだと先端（測温部）が出てしまう



下向きだと先端（測温部）がワキの下中心に当たらない



注意

- ・ 検温前に、体温計の先端（測温部）に触れないでください。
- ・ ワキ下に汗をかいている場合は、タオル等で汗を拭き取ってください。

- ③ ワキをしっかりと閉じて待つ



検温の進行にあわせて、表示が「-」、
「--」、「---」と変化します。

体温の測りかた

注意

- ・ 体温計をはさんだ方の手のひらを上に向け、もう一方の手でひじを脇腹に押さえつけるようにして、ワキの下に体温計をしっかり密着させてください。特にお年寄り、やせている方は注意してください。
- ・ 検温中は、体温計の先端（測温部）が正しい位置からずれないように、体を動かしたり、体温計を動かしたりしないでください。

④ 体温計が振動したら取り出す

この体温計は振動でお知らせします。ブザーでお知らせする機能はありません。約 20 秒で予測検温が終了します。予測検温中は、「予測」マークを表示します。



- ・ ワキから取り出して約 10 秒間静止していると、表示が消えます。体温計を動かすと再度点灯します。
- ・ 検温結果表示の状態で体温計を複数回振ると「—」の表示に戻すことができます。



注意

- ・ 表示値を読み取る際は、体温計の先端（測温部）に触れないでください。表示が変化することがあります。
- ・ 取り出してから表示値が変化したときは、変化後の（固定した）値を読み取ってください。

体温の測りかた

医師の指示などにより厳密な体温管理が必要な場合は、体温計が振動しても取り出さずに検温を続けます。検温開始から約10分後に再び体温計が振動したら、実測検温終了です。

「予測」マークが消灯



5 体温計の充電端子を下にして充電台に戻す

体温計の電源が切れ、充電を開始します。（「電池」マークが緑に点滅します。）

充電台に戻さなくても、約3分後に自動的に電源が切れます。電源が入っていない状態で体温計を複数回振ると、電源を入れることができます。

注意

- ・ 体温計を保管するときは、必ず充電台に戻し、充電マークが点滅したことを確認してください。充電電池が放電して使用できなくなります。
- ・ 汗などの水分が付着した場合は、乾いた布等で水気を拭き取ってから充電台に戻してください。
- ・ くり返し検温するときは、少し時間をおくなど体温計の先端（測温部）を冷ましてから検温してください。そのまま検温すると、測定値が高くなる場合があります。
- ・ 体温計を振るときは周囲の人、ものにぶつからないよう注意してください。

● お子様の体温を測るときには

お子様をひざに乗せ、後ろから抱きかかえるようにしてワキをしっかりと閉じさせてください。

- ・ お子様が眠っている場合でも、手で押さえてワキを閉じてあげてください。

お手入れ

体温計は清潔にして使いましょう

人のワキの下には「皮膚潜在菌」という細菌群が住み着いています。この細菌は病気や高齢などで体が弱った人に対し、病気を引き起こすことがあります。

また感染症が流行しているときの体温計は特に要注意です。

- ・ 手指からウィルスなどが付着する可能性
 - ・ ワキ下から皮膚潜在菌が付着する可能性
- 体温計の先だけでなく全体を清潔にしてください。

注意

- ・ 本品の汚れがひどい場合は、布等を水又はぬるま湯に浸し、よくしぼってから充電端子を避けて拭き取ってください。充電端子は乾いた綿棒で拭いてください。
- ・ 水没させたり、流水などで洗わないでください。[体温計の防水構造は先端(測温部)から5cmまでのため、故障、測定精度低下の原因となります。]
- ・ 化学薬品(シンナーやアルコール、ポビドンヨード、クレゾール等)では拭かないでください。
- ・ ドライヤー等を使用して乾燥させないでください。
- ・ 熱湯消毒はしないでください。
- ・ 超音波洗浄はしないでください。

電池交換

充電が必要なとき

体温計を充電台から取り出した状態で「電池」マークが表示されたり、何も表示されない場合は充電台に戻して充電してください。

- ・「電池」マークが点滅



- ・「電池」マークだけが赤く点灯



- ・充電台から取り出したり、体温計を振っても何も表示されない



体温計を充電台に戻すと、一度振動してから充電を開始します。充電中は「電池」マークだけが約6秒毎に緑に点滅します。

- ・「電池」マークが約6秒毎に点滅（緑）



充電が終わると「電池」マークは消灯します。

電池交換が必要なとき

充電中に「電池」マークが約6秒毎に赤く点滅した場合は、充電台の電池が不足していますので、充電台の電池を交換してください。

- ・「電池」マークが約6秒毎に点滅（赤）



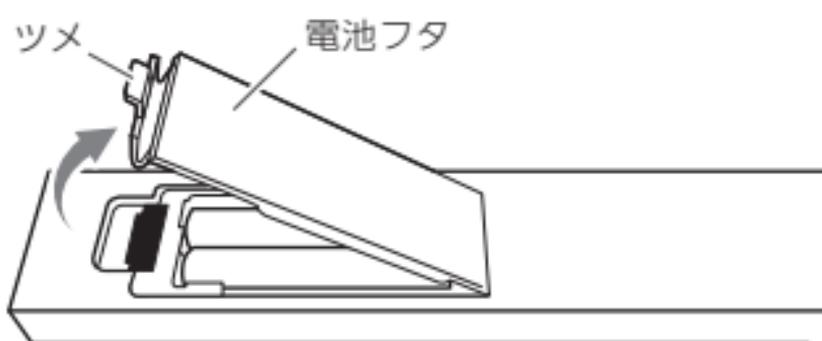
充電台に戻しても何も反応がない場合も充電台の電池を交換してください。

電池交換

電池交換の方法

新しい単4形アルカリ乾電池2個を用意し、交換してください。

- ① 充電台から体温計を取り出し、充電台底面の電池フタを外し、古い電池を取り出す

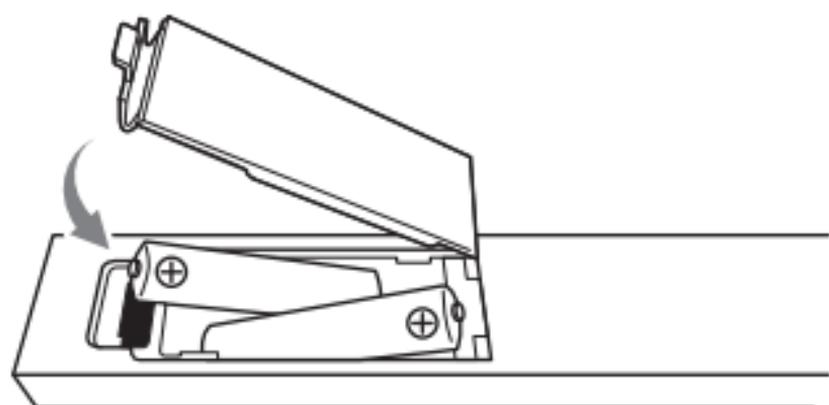


ツメを押しながら手前に引くと外れます。

注意

- ・ 外した電池、電池フタは子供の手の届かないところに置いてください。誤飲の可能性がります。

- ② 新しい電池を入れ、電池フタを取り付ける

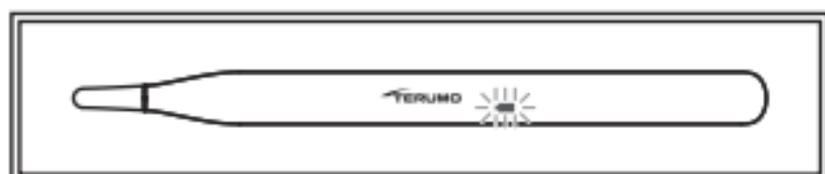


注意

- ・ 電池交換時は、すべてを同時に同じ種類の新品の電池に交換してください。古い電池を混ぜて使用すると電池が発熱し、故障の原因となります。
- ・ 電池のプラス、マイナスの向きに注意して入れてください。間違えると故障の原因となります。
- ・ 電池や電池フタを無理な力で押し込まないでください。

電池交換

- ③ 体温計を充電台に戻し、「電池」マークが緑に点滅することを確認する



注意

- ・ 電池の使用方法は、電池の取扱説明書等に従ってください。使い方を誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したり、けがや体温計の故障の原因となるおそれがあります。
- ・ 指定以外の電池を使用しないでください。故障の原因となります。

アプリの使用方法

本品は、Bluetooth® 通信機能を持つスマートフォンへ接続（ペアリング）し、対応アプリを使用することで、設定の変更や測定記録等の転送が行えます。

「テルモ電子体温計 S100 Setting」アプリについて

- ・ このアプリでは体温計の「表示の明るさ」「体温値表示の色」を変更できます。また、通信時にスマートフォンの日時を体温計の日時として自動的に設定します。
- ・ ダウンロード方法については以下のウェブサイトをご確認ください。動作確認済みのスマートフォンや、測定記録等の転送が可能なその他の対応アプリについてもご確認ください。
- ・ その他の対応アプリを用いる前には、このアプリとの接続が必要です。



www.terumo.co.jp/s100

スマートフォンとの接続

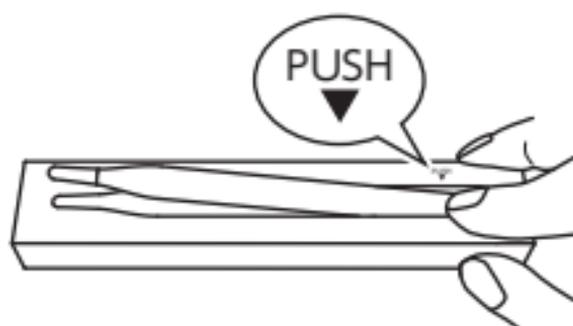
体温計がペアリングできるスマートフォンは1台です。ペアリングするスマートフォンを新規設定／変更する場合は以下の手順で行ってください。

- 1 スマートフォンの Bluetooth® 通信機能を有効にする**
各種スマートフォンの取扱説明書等をご参照ください。
- 2 「テルモ電子体温計 S100 Setting」を起動する**

アプリの使用方法

- ③ 体温計を充電台に乗せた状態で以下①～③の操作を5回繰り返す

- ① 「PUSH」位置を指で押して体温計の電源を入れる



- ② 前回値が表示されたら指を離し体温計を充電台に戻す
③ 「電池」マークが点灯したら①に戻る

- ④ 「P」が表示される

スマートフォンとのペアリングが可能な状態です。ペアリングが完了するまでは、充電台から取り出さないでください。

「P」が表示されない場合は、再度③を実施してください。



- ⑤ アプリの表示に従いスマートフォンを操作し、ペアリングする

- ・ ペアリングが完了すると、体温計に「End」が表示されます。
- ・ 次回より体温計の電源を入れてからアプリを起動すると、自動的に接続されます。接続できない場合は、アプリの接続ボタンを押してください。
- ・ 「P」が表示がされてからペアリングせずに1分経過すると「E-P」が表示されます。その場合は再度③から実施してください。

アプリの使用方法

注意

- ・ 体温計の使用周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
 - (1) アプリと通信する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - (2) 万一、体温計と「他の無線局」との間に有害な電波干渉が発生した場合は、速やかに体温計の使用場所を変えるか充電台に戻して電源を切る、など電波干渉を避けてください。
 - (3) その他、電波干渉の事例が発生した場合等、何かお困りのことが起きたときはテルモ・コールセンターまでお問い合わせください。
- ・ 端末の OS バージョンアップを実施する前に、アプリの最新の対応 OS 及び端末について、本書に記載のウェブサイトで確認してください。[端末がアプリの使用条件に合致していないと、アプリが正常に起動及び作動しないことがあります。]
- ・ 体温計は Bluetooth[®] 無線技術を使用した通信が可能です。電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受する事も考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることには使用しないでください。

ご使用の皆様へ

注意

- ・ 体温は、時間帯、気温、睡眠、感情等の要因で常に変動し、個人差、年齢等でも違いが見られるため、平熱をあらかじめ検温しておいてください。
- ・ 健康な時の一日の体温変動を理解しておくことは大切です。時間を決めて体のリズムをチェックしてください。
- ・ 以下の項目は予測 / 実測精度に影響するため、注意してください。[正確な検温ができないことがあります。]
 - 1) 飲食後、運動後、入浴後、外出から帰宅後はすぐに検温せず、30分ほど待ってから検温してください。
 - 2) 体や体温計が冷えているときは、室温になじんでから検温してください。
- ・ 体温計や電池を火の中に投げ込まないでください。
- ・ 専用の充電台以外は使用しないでください。
- ・ 電池の電解液が、目、皮膚、衣服に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。[失明やけがのおそれがあります。]
- ・ 長期間使用しない場合は、電池は取り外して保管してください。
- ・ 人の体温測定以外に使用しないでください。[けがの可能性がありますが、誤作動や故障の原因となります。]
- ・ 測定結果の自己診断、治療は行わないでください。[自己診断、治療は危険です。]
- ・ 取扱説明書を確認の上、使用してください。[故障の原因や、正確な検温ができない可能性があります。]
- ・ ワキ下以外（口中等）で使用しないでください。[誤飲やけがの可能性がありますが、正確な検温ができません。]
- ・ 使用前に、外観に破損等がないことを確認し、異常が認められた場合は使用しないでください。[検温値の異常や、けがの可能性がありますが、]
- ・ 強くかまない、踏まない、落とさない、強いショックを与えない、曲げない、引っ張らないでください。[破損や故障の原因となります。]

ご使用の皆様へ

- ・ 強い静電気や電磁波、磁石等に近づけないでください。携帯形 RF 通信機器（アンテナケーブル及び外部アンテナなどの周辺機器を含む）を、体温計のあらゆる部分から 30 cm よりも近づけないでください。[誤作動や故障の原因となります。]
- ・ 本品は気密構造ではないため、活性ガス（消毒用ガスも含む）環境や多湿環境等で使用、放置しないでください。[内部の電子部品に影響を与え、劣化や損傷により故障の原因となります。]
- ・ 使用条件下であっても、急激な温度変化を生じさせる使用はしないでください。[装置内部での結露発生により、損傷や経時劣化が生じ、本品が有する機能や性能が得られない可能性があります。]
- ・ 本品は、振動、塵埃、噴霧、腐食性ガス等の発生する場所で使用しないでください。[本品が有する機能や性能が得られず、また、故障の原因となります。]
- ・ 分解、修理、改造は行わないでください。[破損や故障の原因となります。]
- ・ 本品を強く押さえたり、ボールペンやツメ等、硬いもの、先の尖ったものでつついたりしないでください。[破損や故障の原因となる可能性があります。]
- ・ 日光や紫外線等の強い光があたる場所に保管したり、長時間放置しないでください。[変色、劣化や故障の原因となります。]
- ・ 本品に液体や異物が入らないように注意してください。[液体や異物が入ると内部の電子部品に影響を与え、劣化や損傷により故障の原因となります。]
- ・ 本品に磁気カード、ハードディスク等を近づけないでください。[内蔵されている磁石の影響で磁気媒体が破損する可能性があります。]
- ・ しばらく使用しなかったときは、使用前に必ず作動（電源が入ること、「電池」マークが点灯していないことなど）を確認してから使用してください。

故障かな？と思ったら

故障が疑われる場合は、まず以下の項目について確認をお願いいたします。

それでも問題があるときは、「保証規定」をお読みの上、テルモ・コールセンターへご連絡ください。

こんなときは	原因	対処方法
E の表示	検温前に先端（測温部）に触れた。	充電台に戻すか、体温計を複数回振って「— — —」（検温準備 OK）の表示に戻した後、再度検温してください。「体温の測りかた」（8 ページ）
	1 回目の振動前（予測検温中）に、体温計が外れた。	
振動が止まらない。 初期表示が正常ではない。	静電気による誤動作。	一度充電台に戻して電源を切ってください。「体温の測りかた」（11 ページ）
EE の表示		
充電台から取り出しても自動で電源が入らない。	充電台の電池が消耗している、かつ体温計の充電電池電圧が低下している。	充電台の電池を交換し、体温計を充電してください。「電池交換」（14 ページ）
10 分経過時に振動しない。	予測検温の振動後、体温計の位置がずれた。	再度検温してください。「体温の測りかた」（8 ページ）
ワキの下から取り出したときに、何も表示されていない。	予測検温の振動後、体温計の位置がずれた。	充電台に戻すか、体温計を複数回振って「— — —」（検温準備 OK）の表示に戻した後、再度検温してください。「体温の測りかた」（8 ページ）
H I の表示	使用可能な周囲温度の上限を超えている。	使用条件内の室内で、表示が消える（「— — —」が示される）まで、室温になじませてから、検温してください。
Lo の表示	使用可能な周囲温度の下限を超えている。	
0 (オー) の表示	検温値が 42℃ を超えている。	人の体温測定以外に使用しないでください。再度検温する際は一度充電台に戻した後に実施してください。
E - P の表示	通信が正しく行われていない。	再度「P」表示にしてから、スマートフォンへ接続してください。「スマートフォンとの接続」（16 ページ）

仕 様

販売名	テルモ電子体温計 S100
型式	S100
測温方式	予測式 (予測検温・実測検温兼用)
温度検出	サーミスタ
検温部位	ワキ下
測温範囲	32.0 ~ 42.0℃
検温時間	予測検温時間：平均約 20 秒 (おおよそ 16 ~ 25 秒) (振動で告知) 約 4 分 30 秒後実測検温に移行 実測検温時間： 約 10 分 (振動で告知)
温度精度	± 0.1℃ (32.0 ~ 42.0℃) 恒温水槽を用いて約 1 分間測定したときの表示温度の、標準温度計に対する誤差
表示方式	LED による体温値 3 桁デジタル表示
電源電圧	体温計：DC3.8V (リチウムイオン充電電池) 充電台：DC3.0V (単 4 形アルカリ乾電池 2 本)
消費電力	約 40mW
分類	内部電源機器・BF 形装着部
電池寿命 (充電台)	約 1 年半 (1 日 1 回予測検温の場合)
通信方式	Bluetooth 無線技術
オートパワーオフ時間	約 3 分
使用条件	周囲温度 10℃ ~ 40℃、 相対湿度 30% ~ 85% RH (ただし、結露なきこと)
保管条件 輸送条件	周囲温度 - 10℃ ~ 50℃、 相対湿度 30% ~ 95%RH (ただし、結露なきこと) 気圧 700hPa ~ 1060hPa

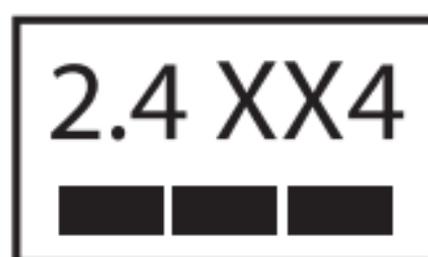
仕 様

製造年月日	本体及び充電台銘板の製造番号に記載 例:2020-FL[製造年 (YYYY)-月 (A-L) 日 (1-9, A-V)] 充電台は末尾に C
外観寸法	(本体) 長さ 125mm × 幅 9.5mm × 厚さ 6.5mm (充電台) 長さ 148mm × 幅 31mm × 高さ 24mm
質量	(本体) 約 6.4g (充電台) 約 40g (電池含まず)
付属品	充電台、単 4 形アルカリ乾電池 × 2 (充電台内部)、取扱説明書 / 品質保証書、添付文書 / EMC 技術資料
別売品	充電台 製品コード : XX-ETBC1

お願い

体温計や使用済みの電池を廃棄する際には、各自治体のルールに従って適正に処理してください。

次のマークは以下のことを表しています。



$\frac{2.4}{\text{①}}$
 $\frac{XX}{\text{②}}$
 $\frac{4}{\text{③}}$

① 使用周波数帯域 : 2.4GHz 帯

② 変調方式 : その他

③ 想定干渉距離 : 40m 以下

- ・ 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能

シンボル

	BF 形装着部
	リサイクル (ダンボール)
	リサイクル (紙)
	リサイクル (プラスチック)
	湿度制限
	気圧制限
	上積み 段数制限
	取扱注意
	水ぬれ防止
	直射日光禁止
	温度制限
	取扱説明書 を参照
	正しい上向き 位置を示す
	検定証印
	工事設計認証番号

体温の話

平均約 20 秒で測れるひみつ

テルモ電子体温計 S100 は、多数の体温上昇データをテルモ独自のアルゴリズムで解析し、10 分後の平衡温（へいこうおん）がどのくらいになるのかを、短時間に演算します。したがって、わずか 20 秒程で平衡温を測定することができます。



「平衡温」とは？

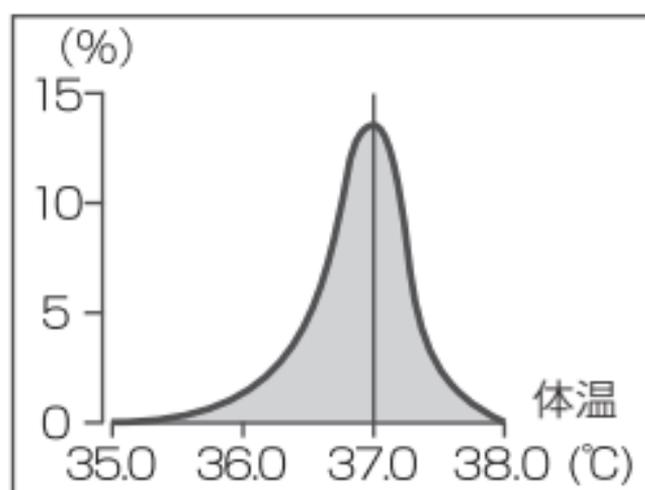
ワキの温度は「体の表面の温度」ですが、しっかり閉じることで体の内部の温度が反映されて温まります。この完全に温まったときの温度を平衡温（へいこうおん）と言います。平衡温に達するには、ワキを閉じてから、10 分以上かかります。

37℃は発熱とは限りません

熱を測って 37℃あると、「熱が出た！」と思いがち。ところが、37℃は平熱の範囲内なのです。

正しく測れば、子供からお年寄りまで、健康なときの体温の平均値は 36.89℃ ± 0.34℃（腋窩：ワキ下検温）。

だから 37.0℃の平熱の人は珍しくありません。平熱は人によって異なるものです。



日本人の体温分布

文献) 田坂定孝

日新医学 44:633,1957

さらに詳しい情報は

テルモ体温研究所のホームページをご覧ください。

www.terumo-taion.jp

テルモ体温研究所

体温から健康に

テルモ体温研究所は体温をキーワードに新しい健康生活を提案していきます。

品質保証書

品質保証書

このたびは、本品をお買い上げいただきましてありがとうございます。品質には万全を期しておりますが、通常のご使用において万一故障が発生しましたときは、保証規定により無償対応いたします。

品質保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

販売名：テルモ電子体温計S100

お名前：

ご住所：

TEL：

お買い上げ
販売店名

お買い上げ年月
年 月 日

製造販売業者：テルモ株式会社
東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号

検査合格証



保証規定

- (1) 保証期間は、お買い上げ後1年間です。
- (2) ご使用中、故障が発生した場合はテルモ・コールセンターへご連絡ください。
- (3) 保証期間中に、通常の使用において万一故障が発生したときは、品質保証書を現品にそえて送付していただければ、無償対応いたします。
- (4) ただし、以下の場合は保証期間中でも有償になります。
 - (イ) ご使用中で取扱いの過誤(落としたり、強いショックを与える、水をかけるなど)により発生した故障。
 - (ロ) 正しい状態(使用後は収納ケースに入れるなど)でご使用にならなかった場合。
 - (ハ) 消耗部品(電池)
 - (ニ) 製品の改造、不当な修理により発生した故障。
 - (ホ) 火災、地震、水害等天災地変などの不可抗力による故障及び損傷。
 - (ヘ) 故障の原因が本品以外に起因する場合。
 - (ト) 上記以外で弊社の責に帰することのできない原因により発生した故障。
 - (チ) 品質保証書のご提示がない場合。
 - (リ) 品質保証書にお買い上げ日、販売店名の記載がない場合(ただし、お買い上げのレシートでも可)、また、字句を書き換えられた場合。
- (5) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

管理医療機器

一般的名称：電子体温計

販売名：テルモ電子体温計 S100

医療機器認証番号：303AABZX00012

製造販売業者：テルモ株式会社

東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号

Stride Ahead
100th

記載されている社名、各種名称は、テルモ株式会社および各社の商標または登録商標です。Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。

テルモ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。

© テルモ株式会社

2021年7月 ET_S100_J_50_001

